

第35回「Qの会」  
研修会開催

11月12日香川大学において「Qの会」第35回研修会が開催されました。今回のメインテーマは「1型糖尿病患者への移行期支援」で、講師に、国立病院機構 四国こどもとおとなの医療センター 臨床研究部長の吉田守美子先生をお迎えし「小児から成人への移行期の1型糖尿病患者支援」について講演がありました。

次に、事例検討として「中学生の1型糖尿病患者へのかわりについてグループディスカッション及び発表が行われました。」

研修会アンケート結果

第35回研修会参加人数44名のうち41名より回答をいただきました。

職種は、看護師だけでなく薬剤師の方もいました。所属は、医療機関や教育、研究機関、訪問看護ステーションと幅広く参加されていました。

講演について「成人移行支援は、今後発展させていかなければならない。途上半ばにあることを実感しました。私たちの意識的に移行（成長）

成長していく人へ関わり、支援を考えていかなければならないと思えました。最新の知識を蓄えつつ」という意見がありました。

グループディスカッションについては「参加するたびに新しい発見があり、勉強になりました。患者様の現状を知ることができてよかったです。」「いつも事例がとてもしっかりありました。」「という意見がありました。」「今後の研修会のテーマについて「ポンプ療法が多くあり、」「リブレを含む血糖パターンマネジメント」「看護師教育」「精神疾患を抱える患者」「災害時のカーボカウント」などもありました。」「アンケート結果を参考にしていきたいと思えます。」



香川県糖尿病療養指導士看護ネットワーク「Qの会」総会  
第36回研修会のご案内  
日時：2024年6月23日（日）9時30分から  
場所：香川大学医学部看護学科305教室  
メインテーマ：カーボカウントを学んで患者支援に活かそう！（仮）  
講師：糖尿病看護認定看護師 中辻裕子先生  
★ホームページから申し込みください

学会・研修会の1案内

- 認定更新のための研修単位が取得できる予定の研修会をお知らせします。
- ★第67回日本糖尿病学会年次学術集会・・・第2群4単位  
日時：2024年5月17日（金）19日（日）
- ★第11回日本糖尿病協会年次学術集会・・・第2群4単位  
日時：2024年7月20日（土）21日（日）
- ★第18回日本慢性看護学会学術集会・・・第1群2単位  
日時：2024年8月10日（土）11日（日）
- ★第29回日本糖尿病教育・看護学会学術集会・・・第1群または第2群 4単位  
日時：2024年9月21日（土）22日（日）
- 場所：国立京都国際会館

AI（人工知能）と糖尿病看護について

高松赤十字病院 糖尿病看護認定看護師 林 顯憲

以前から、「AIチャット」や「AI予測」といった言葉はよく聞かれましたが、2023年ごろから急にAI（人工知能）の話題が多くなったように感じます。「AIが医師国家試験において合格基準を超えた！」とか、「AI画像診断をAIが行い癌を早期発見！」など医療現場での活用が進んでおり、驚きのニュースが増えていきます。しかし、課題についても多く指摘されており、プライバシーの問題やAIの信頼性、責任の所在など、解決すべき問題はまだまだ多そうです。

私自身、機械や新しい技術に疎い性格なのですが、急速に進化するテクノロジーに置いていかれる思いから、最近Q&Aコーナーをダウンロードしてみようと思いました。Q&AコーナーはAIを活用したチャットサービスで、質問に対して自然な文章で回答することができます。「糖尿病とは」「糖尿病看護とは」といった質問にも、良い回答が得られることがあります。そこで、「あなたは糖尿病看護を提供できますか？」と質問すると、「私は情報提供や一般的なアドバイスを行うことはできませんが、実際の看護行為や患者の個別の治療計画の立案はできません」とのことでした。これは大変感じられた瞬間でした。しかし一般的なアドバイスだけでは感じられないような、我々は普段苦労していないはずですが、情や言葉から心情を察して言葉を選ぶことや、患者との関わりの中で個別性を考慮した支援など、まだまだ人間にしかできないことも多いと思っています。一般的な看護ではなく、AIに真似できないような磨かれたスキルが、これから医療にも看護にも必要なのではないかと思えます。AIの進化と共に、看護の世界にもきっと当たり前のようになりAIと協働する時代がくるでしょう。AIと上手に付き合っていけると良いですね。

◆編集後記 新型コロナウイルス感染症が5類になり、研修会など皆様にご参加の機会が増え嬉しく思っています。  
小松原たか子・串田久美

発行所 香川県糖尿病療養指導士看護ネットワークの会  
http://www.qnokal.org